

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 事業名 | 食育・食農教育事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 信州うえだ農業協同組合 (0268-25-7800) |
| 事業区分 | 教育・文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト事業 |
| 総事業費 | 406,351円 (うち支援金: 304,000円) |

事業内容

○KIDS サマースクール

夏休みを利用し、管内の小学生を対象に、地元食材を使用した料理教室と農産物流通センター見学を行い、地域の農産物や流通の仕組みを学んだ。

開催日時 平成28年8月2日

開催場所 JA丸子支所塩川店

参加者 26名



【農産物流通センター見学】

○信州の名物おやきづくり&長門牧場体験ツアー

親子参加による郷土食(おやきづくり)と牧場での農業体験を行った。長門牧場は6次産業化に積極的であり、参加者は酪農を学びながら、地域の特徴を学んだ。

開催日時 平成28年8月2日

開催場所 JA上田西支所泉田店

参加者 29名



【親子で牧場の仕事を学ぶ】

○親子じゃがいも掘り体験 IN たかやま

JA管内でも菅平に続く野菜の生産地である長和町鷹山で、地域や高原野菜を学びながら、親子で農業体験(じゃがいも掘り)を行った。

開催日時 平成28年8月28日

開催場所 長和町大門鷹山

参加者 19家族74名



【親子でじゃがいも掘り体験】

○りんごの収穫&農産物流通センター見学&地域の伝統食体験教室

真田地区は、高原野菜(菅平)のイメージが強いが、管内では、果樹(りんご等)の栽培が盛んな地域である。

当日は、圃場でりんご収穫体験を行いながら、生産者との交流を楽しんだ。また、農産物流通センターでは、農産物が出荷されるまでの流れを学んだ。また、親子で地域の伝統食である五平餅づくりを行った。

開催日時 平成28年11月12日

開催場所 真田町長一体

参加者 5家族15名



【地域の伝統食五平餅づくり】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加者は、牧場をはじめ、りんごの圃場、鷹山地区、農産物流通センターに出向き、農業体験を通じて、地域や農業の特徴を学んだ。また、生産現場を訪れることで、安全・安心の取り組みをはじめ、農畜産物等への理解が進んだ結果、地産地消の促進がはかられた。

生産者や地域グループ、参加者間の交流や農業体験を通じて、地域の再発見（農業への理解促進、新たな交流等）に寄与するとともに、親子の絆づくりや地域におけるコミュニケーション強化につながった。

一方、地元食材を使用した料理教室では、はじめて「おやき」や「五平餅」等を作る子供も多く、参加者全員で伝統食について楽しく学ぶとともに、地域文化の継承に効果が見られた。

生産者の話にメモや質問する子供も多く、食や農を通じて学ぶ機会を提供することが出来た。また、今回、協力いただいた生産者は、多忙な時期にも関わらず、趣旨を理解し、参加者へ様々な説明をしていただいた。

食や農をテーマに、参加者や生産者をはじめ、多くの関係者との新たな交流を通じて、地域づくり（活性化）に取り組むことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

上小管内は、多種多様な農畜産物が生産され、また、それぞれの地域に特徴がある。

今回の企画はその一部の農畜産物や地域に触れただけであり、今後も様々な機会を通じて、内容を変えながら継続化していくことが、本事業の事業効果を更に高める。

次年度以降、今回の参加者へのアプローチや新たな参加者を加えるとともに、内容を工夫し、多くの地域住民を巻き込みながら事業効果を高め、地域づくり（活性化）をすすめる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①地域や農業の特徴を学ぶ
- ②地域や生産者との交流(協同の輪)
- ③農業体験を通じた親子の絆づくり
- ④料理教室を通じた伝統食の継承

※自己評価【B】

【理由】

4地区での開催、参加者や生産者及び関係者から一定の満足度が得られた一方、次年度に向けた改善点があること、事業効果が数値化できないことから。